



ザンビアZCTU HIV/AIDS全国セミナー開催

～ 連合・JILAFアフリカエイズプロジェクト スタート～

4年越しのプロジェクト始動

アフリカのザンビア労働組合会議 (ZCTU) と国際自由労連アフリカ地域組織 (ICFTU-AFRO) 連合とJILAFが協力して、第1回HIV/AIDS全国セミナーを2005年2月6日から12日までルサカで開催した。2001年5月のICFTU-AFRO地域大会で、AFROのカイレンボー書記長から当時の連合会長へ働きかけがあったから、足かけ4年の歳月がかかったが、プロジェクトを立ち上げ第一歩を踏み出すことができた。

HIV感染者の2/3が居住する アフリカ

国連UNAIDSの統計(2004年末)によれば、世界のHIV感染者3,940万人の約64パーセントにあたる2,540万人がサハラ砂漠以南のアフリカに集中している。この内ザンビアでは92万人がHIVに感染していると言われ、成人の約20%がHIVに感染している割合になる。過去には60歳代だった平均寿命も、エイズにより死亡率が高まり現在は37歳になっている。



26名のコアトレーナー養成

最大の課題は今後いかに新規の感染者数を押さえていくかである。今回のセミナー開催費用は連合の国際連帯資金から拠出され、コアトレーナーと呼ばれる産業別組織のHIV/AIDS担当者26人を養成した。エイズ対策の基本となる予防・ケア・サポート分野で必要な知識を実践的な手法で教えた。

実践的なカウンセリング実技

カウンセリング実技では、実際に相談者とカウンセラーという役割でロールプレイを行い、どんな点に注意すれば良さを講師がアドバイスした。話し方の口調・言葉使い・姿勢・視線など細かい点にいたるまで、カウンセリングを受ける相談者の立場から実習した。

鍵になるVCT検査

セミナー最終日の修了式で、ZCTUのリーダーから修了書を受け取った参加者は、1週間のセミナーを終え、達成感に満ちていた。後日うれしいニュースが舞い込んできた。カップルで修了

式に参加していた参加者で、自主的カウンセリング・検査(VCT)に行くことを決めた人が出たということだった。検査の結果によっては、感染者というレッテルを貼られ、差別にも結びつくため、まだVCTへ足を運ぶ組合員は少ない。

職場レベルまで知識を普及する 取り組み

VCTはすべてのHIV/AIDS治療の窓口で、VCT検査を受けることから治療も開始される。HIV/AIDSの知識が職場の底辺まで普及できて初めて、VCT検査を受ける組合員の割合が増え、早期の治療に結びつく。いかに多くの組合員と家族がVCTへ足を運んでくれるかが、プロジェクトの成否につながると言えるのである。数家族ではあってもVCTへ行く決断をしたというニュースを伝え聞き、今後予定されている準コアトレーナー養成に向けて、明るい兆しが見えてきた。

国際フォーラム 「北米労働運動の挑戦」を開催

1月18日から27日の日程で、北米チームとして、アメリカAFL-CIO、カナダCLCから各2名の招聘を行い、この機会に北米労働運動の挑戦というテーマで国際フォーラムを開催した。アメリカAFL-CIO、カナダCLCからの招聘者が、現在のそれぞれの労働運動を取り巻く政治、経済の状況、そして、今後の労働運動の課題と取り組みについて報告を行い、引き続きフロアとの質疑応答を行った。直前の案内にもかかわらず、多くの労働組合関係者が参加し活発な意見交換が行われた。

カナダからは、組織率は比較的高いものの、移民労働者やパートタイム労働者のニーズを捉えた運動を展開していく必要性や、知識経済への移行に伴い教育、技能訓練がますます重要になってくることなどが報告された。また、アメリカでは、ブッシュ政権のもとで、労働運動が非常に厳しい状況に置かれていることや、移民労働者、そして非正規労働者の労働条件の低さと国内において二極化が進んでいる現状などが紹介された。



グローバル化が進む中で国際競争が激しさを増しており、「底辺への競争」といった労働条件の切り下げを余儀なくされる場面が増えているなかで、いまこそ労働運動はグローバルなレベルでの連帯を強化しなければいけない、困難があってもお互いに話し合いを重ね、共通の戦略を持つことが必要だというメッセージが強く打ち出されていた。

タイにおいてGUFsと 二つのワークショップを開催

JILAFでは2004年1月から2月にかけて繊維関係のGUFであるTWARO、商業・流通・小売関係のGUFであるUNIと二つのセミナーを開催した。

TWARO / TWFT / JILAF共催の「The impact of textile industry after the end of quota system」セミナーは、1月22日～23日にかけてタイのバンコクで開催され、TWFTからカンジャイ会長ら37名（うち女性23名）、TWAROから中野さんらが出席した。セミナーではチェラロンコン大学他の講義の後、「MFA廃止の影響と対策」をテーマにグループディスカッションが行われ、発表を通じて対応



熱心に講義を聴く参加者

策がまとめられた。

討議結果として、割り当て制度終了後の影響についてよりきめ細かく実態把握に務め、組合員に情報を提供すること、地方の法律改善に努めること、ILO条約の批准を求めるキャンペーンの実施、労働法の改正、経営者側へのCOC (Code of Conducts) の推進フォロー等が決められた。

UNI - TLC / UNI - LCJ / JILAF共催の商業部会セミナーは総選挙直後の2月6日～7日にかけてアユタヤ市で開催され、テスコロータス労組から委員長はじめ33名の役員と組合員、アユタヤ地区の他労組役員4名、UNI-TLC役員6名のほか、UNI-LCJからJSD五十嵐副会長、UIゼンセン神竺副部長、UNI-LCJ伊藤事務局長ら計49名が出席した。各団体の講演の中、JSD五十嵐副会長は質問に答える形で、労使関係が悪い時こそ仕事はより一生懸命やる事、労組としての魅力作り、地域社会に根付く事、オルガナイザーの育成が重要である事等をアドバイスした。テスコロータス労組は昨年タイの商業部門では初めて結成された労組で、労使関係を含め厳しい状況にあるが、参加者は皆真剣で熱気にあふれていた。

回 廊

貧困撲滅に求められる日本の労働組合の貢献



矢木 孝幸

PROFILE

在米日本大使館 一等書記官
東芝労働組合出身。電機連合
総合研究センター（電機総研）
を経て、在米日本大使館経済
班へ経済協力担当として赴任。
現在に至る。

ワシントンに日本大使館に勤務して以来、三年間に及ぶ大使館生活もいよいよ最終章を迎えつつあるなかで、いまや世界的に大きな転換期を迎えている経済協力について、最新状況をご紹介します、日本の労働組合に求められているポイントを分析したいと思います。

1. 貧困削減に向けての世界的な潮流

二十一世紀の現在でもなお、世界を俯瞰すれば旱魃や疫病などで大きな影響を受けている地域がたくさん存在しています。グローバル化の進展は一部で豊かな地域を作り上げましたが、同時にいまだに貧困に苦しんでいる地域が多数存在しており、これらの地域には自助努力を推進する基盤すらないのが事実です。

2. 今年は「貧困削減の年」

本年7月、英国(スコットランド・グレンイー

グルズ)で開催されるサミット(主要国首脳会議)では、先進国は貧困削減にどのように貢献すべきかについて、アフリカを中心に論議が進められる予定です。

また9月には特別首脳会議が開催され、貧困撲滅に関する「ミレニアム開発目標」の最新状況が検討される予定です。

3. 児童労働廃絶や貧困撲滅に注目を

日本国憲法前文次のように述べています。「われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならない」

世界で有数の豊かな国となった日本からは、児童労働やエイズ病禍など、組合の視点からも貢献できる問題が幾つもあります。

貿易立国の日本が貧困に苦しむ国々を無視することはできない以上、今後とも、組合は国際社会で求められる貢献を真摯に検討し、しっかりと取り組む必要があると思います。

労働組合で取り組む国際協力

No. 7

インドの学校プロジェクト支援

自動車総連
事務局次長 佐藤浩一さん

子どもたちと握手して目を見つめられてじんと来た。現場に行けばつい情が移ってしまう。彼らが本当に自立できるまで、組合運動の中でいかに支援を継続していくか、それが課題。一時的な同情による施しに終わってはいけない。佐藤浩一さんはインドのマーカプールでJILAFスクールを視察した後、その思いを新たにされた。

佐藤さんが事務局次長を務める自動車総連は2004年度、JILAFの学校プロジェクトに資金援助を行った。拠出した援助金が現場でどのように活かされているか、一度確認しなければならないと思っていた。そこで去る1月、JILAFスクールの開設地であるマーカプールに足を運び、自動車総連の役員として現場をはじめて視察した。

「基本路線は是。しかし根底にあるのは、やはり財政の問題。組合費が最も有効な形で使われるよう、どこにどれだけの援助が必要かを見極めることが大切。」佐藤さんはそう語った。

ではどうすれば良いか。その解答へのアプローチとして、佐藤さんは影響力のある人、具体的には組合のトップが現場に直接足を踏み入れることが重要だと考えている。現場の声を聴くのは組合運動の原点でもある。カウ

ターパートとなる現地の組合と信頼関係を築くことも重要。支援の対象が広いからこそ、支援先の選定は慎重に行わなければならない。JILAFが忘れてはならない問題意識を、佐藤さんはあらためて提示してくれた。



